

令和6年度 学校研究の概要について（後期）

教育目標	社会の変化に対応できる しなやかでたくましく生きる力の育成
めざす生徒像	<ul style="list-style-type: none">・自分の大切さと共に他の人の大切さを認める生徒（自分も大事，相手も大事）・学びを生かし，問題解決できる生徒（知識は生かすためにある）・一歩高みを目指し，努力できる生徒（常に一歩前進）・多様な価値観を認め，協調性のある生徒（みんな違って，みんないい）
実態把握 (昨年度末)	【強み】 ・多様な意見がたくさん出る。 ・ペア活動やグループ活動に積極的である。 【弱み】 ・学習規律を守ることのできない生徒がいる。 ・曜日課題などの家庭学習に取り組む意識が低い。
育成をめざす 資質・能力	主体的に学ぶ力
研究主題	主体的に学ぶ力の育成 ～学習者主体の授業づくりを通して～

研究の重点と共通実践

「単元デザインの工夫」

- ・学習のゴール（目指す生徒の姿）を明確にし，学習の開始時に生徒と共有する。
- ・授業の中で生徒が自己決定できる場面を設定し，主体的に学習に取り組めるようにする。
- ・視点を示した振り返りを行い，新たな学びへつながるようにする。

「学習規律の確立」

- ・「**NANACHUstandard**」（学習規律・環境のルール）を徹底する。

「支持的風土のある集団づくり」

- ・「N-time」（短時間グループアプローチ）を全教員のローテーションで実施し，学校全体で支持的風土のある集団づくりを行う。

検証方法

以下の指標をもとに，成果の検証を行う。

- (1) 第3回到達度調査において，第2回到達度調査と比較し，A・B層の増加，C・D層の減少
- (2) 主体性・支持的風土に関する生徒アンケートでの肯定回答率85%以上

学びの集会

七尾中学校の学びについて，生徒と教員で共通理解するために，「学びの集会」を実施する。